

## 1 臨海部混雑マップの目的

- 東京2020大会では、臨海部では多くの競技会場等が集中しており、大会関係車両による交通量の増加が予想されている。一方、東京港では、生活関連物資を中心とした多くの貨物を取り扱っており、臨海部はコンテナふ頭を利用する物流関係車両をはじめとする交通量の集中するエリアである。
- そこで、大会運営と物流機能とを両立させるために、臨海部の交通混雑の詳細な情報をマップとして情報提供することで、大会時における交通量の抑制・分散化に係る取組について荷主企業を始めとする物流事業者等の参考としていただく。

## 2 臨海部混雑マップの概要

- 対象期間           2020年7月25日～同年8月8日   の全ての日毎に掲載
- 対象エリア        臨海部の競技会場が集中する地区とコンテナふ頭が主な対象エリア
- 対象道路           臨海部の主要道路（国道、都道、臨港道路等）及びORN（オリンピック・ルート・ネットワーク）をメインとして掲載

### ◆ 臨海部混雑マップの閲覧に当たっての留意点

- 今回のマップは、東京2020大会期間中において、「何も交通対策を行わなかった場合」における道路の影響についてまとめたもので、実際に生じる大会期間中の交通状況を予測したものではありません。
- TDMなどの交通対策や路上競技実施時の状況、大会期間中の交通規制については反映しておりません。
- ORN等であっても一般車両の通行が少ないと想定される道路は、掲載の対象外としている場合があります。
- 今後、新たな情報等を踏まえて、臨海部混雑マップについては適宜更新していく予定です。